

福岡県久留米市山本町豊田方言の 比喩語について

上野 珠貴

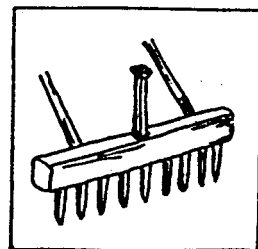
はじめに

1. 調査対象地：山本町は、福岡県南部を流れる筑後川の中流域、水縄山地の北山麓にある。人口は3495人（平成2年）で、あまり変化はない。主な産業は農業で、米作と植木栽培が盛んである。JR久留米までバス便があり、約40分である。
2. 調査年月日時：1993年 2月11日午後 1時40分～ 4時30分
3. 話者：香月徳男 昭和 2年 1月13日生（66歳）
他に60歳台の女性 1名、50歳台の男性 1名に同席してもらった。
4. 調査者・調査場所：上野珠貴・話者宅
5. 調査方法：「『方言資料叢刊』第3巻調査票」に基づいて尋ねる方法をとった。必要に応じて同席者にも発言を求めたり、確かめたりした。

I 《自然現象》

1. 日照り雨 キツネアメ（狐雨）[名] 稀
ヒナターメ（日向雨）[名] 古，ヒノテリアメ（日の照り雨）
2. 入道雲 ニュードグモ（入道雲）[名] 盛，カミナリグモ（雷雲）
3. 旋風 ツムジカゼ（旋風）[名]
タツマキ（竜巻）[名] オタツマキガ タツトル。
(たつまきが起こっている。)
4. 霜柱 シモバシラ（霜柱）[名]
5. つらら マガンコ（馬鍬のこ）[名]
馬鍬（まが図1）は、牛や馬に引かせて
田を鋤く農具であり、形がつららに
似ている。ただし、話者は語源を知らなかった。
6. 北斗七星 ホクトヒチセー（北斗七星）[名] 新
7. すばる N. R.
8. 流れ星 ナガレボシ（流れ星）[名]

図1



II 《動物》

- 9.かわはぎ N. R.
同席の男性から「カワハギ」という回答があったが、話者は海の魚についてはわからないと回答。
- 10.ひらめ ヒラメ〔名〕
- 11.ひきがえる ワグド〔名〕 ○ワグドーフ デトル。(ワグドーフが出ている。) 他の蛙は一般に「ビキタン、ビッタン」或いは「ビキ」と言う。
- 12.青大将 ヤジラミ〔名〕
- 13.とかげ カベチョロ(壁チョロ)〔名〕 壁のまわりをチョロチョロと動き回る様子から名付けたか。
トカゲ〔名〕新
- 14.かまきり オガマニャトーセン(拝まないと通せん)〔名〕古・若者成人は「オガメントーサン」と「オガマニャトーサン」とを使うが、今では「カマキリ」と言う人が多くなっている。
- 15.みずすまし ミズスマシ〔名〕新
- 16.きつつき キツツギ〔名〕新
- 17.せきれい イシタタキタロベ(石叩き太郎兵衛)〔名〕
尾を上げ下げする様子が石を叩いているように見えるので名付けたと思われる。単に「イシタタキ」とも言う。
- 18.ふくろう コーズ〔名〕
「コーココーコ」という鳴き声によるとのことである。
当地方では、子供は、ふくろうの鳴き声を「コーココーコ ハナクソ クーカ(鼻糞食うか。)」という。
『福岡県内方言集』に「久留米地方ニテハ(こうぞう五郎助平兵衛)ト鳴クトイヘリ以テこうぞうノ名ノ起リヲ知ルベシ」とある。

III 《植物》

- 19.馬鈴薯 ジャガイモ〔名〕
- 20.とうもろこし トーキビ(唐黍)〔名〕
- 21.いんげん豆 N. R.
- 22.そら豆 トンマメ(唐豆)〔名〕

23. 木くらげ ミミタケ (耳茸) [名] 稀
 耳たぶの形に似ているからとのことである。
 きのこを総称して「ナバ」と言う。
24. げんのしょうこ ゲンノショウコ [名]
25. どくだみ タローガシンノゲ (太郎の尻拭い) [名]
 「臭いのでタローガシンノゲという」とのことである。
 現在では「ドクダミ」と言う人が多い。
26. いたどり イタドリ [名]
 同席の男性からは「カワタケ (川竹)」という回答があった。
クワグリ , クソゴリ (臭い瓜) [名] 老・中年
27. からすうり
28. すみれ スミレ [名]
29. 春蘭 シュンラン (春蘭) , ヤマラン (山蘭) [名]
30. 母子草 テンジクグサ (天竺草) [名] 稀 , ハハコグサ (母子草)
31. ねむの木 コーカ [名] 稀 漢字では「合歡」と書くとのことである。
 『類聚名義抄』に「子フリノキ 合歡木」とある。また、『色葉字類抄』にも同じように「合歡木 子フリノキ」とある。
ネンネコンボ 『福岡県内方言集』には「ねんねこんぼハ嬰兒ヲ
 寝入ラシムルトキニ唱フル詞此ノ木ノ葉ヲ懐ニ入レテねんね
 こんぼト連呼シツ、萎マシムルガ故ニカク名ツク」とある。

IV 《性向》

32. 熱しやすく冷めやすい人 シリヤケド (尻火傷) [名] 特に仕事など一所に落ち
 着かず、次から次に変えていく人のことを言う。
33. あわてん坊 トチメンボ [名]
 あわてること、うろたえることを「トチメンボフル」という。
34. 動作の鈍い人 フータラヌッカ [形] ○ホソニ アタ フータラヌッカ 丩。
 (本当にあなたはのんびりだねえ。)
 はっきりしない鈍い様子を言うが、他にまどろっこしいとい
 う意味にも使う。
アマタレ [名] うすのろという意味であるが、他に甘えん坊と
 いう意味もあるとのことである。

35. 嘘つき

スラゴツ ハンブン (空ごと半分)

言っていることの半分は嘘であるということ。

○アソ ヒター スラゴツ ハンブン ホンナコ ハンブン
ヤケ キー ツケン ノー。

(あの人は言っていることの半分は嘘だから気を付けなさいよ。)

36. ほらふき

ホラフキ (ほら吹き) [名]

37. おしゃべり

ツッカラ ツギ (次から次)

38. 冗談言い

ゾーキンタン , ゾータン (冗談) [名]

39. 口先だけの人

クチバッカシ (口ばかり)

40. とんちんかんなことを言う人

N. R.

41. 煮えきらない人

N. R.

42. 怒りっぽい人

シュンカンユワカシキ (瞬間湯沸かし器) [名] 新

ハラカキ [名] 立腹することを「ハラカク (腹かく)」と言う。

43. 気むらな人

N. R.

44. 泣き虫

ナケベス (泣きべそ) [名]

声をあげて泣くことを「クロボエル」と言う。

45. おてんば娘

オトコオナゴ (男女子) [名]

46. 腕白坊主

ワルサボーズ (悪さ坊主) [名]

47. でしゃばり

デシャバリモン (でしゃばり者) [名]

48. どこへでも顔を出す人

○ドゲン トコゲン ツラ ダス モンプ。

(どこにだって顔を出しますよね。)

49. 外出しない人

ヒバチバン (火鉢の番) [名] 稀

50. 小心者

ツラワレ (面割れ) [名]

自分の意志をはっきりと言えない人、内気な人を言う。

反対に、横着でずうずうしい人は「オードーモン (横道者)」

無鉄砲な人は「オーバンダ」と言うとのことである。

51. 内弁慶

ウチベンケー (内弁慶) [名] 新

52. 人づきあいをしない人

N. R.

53. 妻に対して頭の上がない男

○シリソ シタニ ヒカレトル。

(尻の下に敷かれている。)

54. けち

○イシキリソ クソニ ドーガネ ウチコンダゴタル。

(石工の糞に銅金を打ち込んだようだ。)

堅いことのたとえ。

コスカ (けちだ), ドソゴスカ (たいへんけちだ) [形]
ケチンボ [名] 新
ゴーズクバリ (欲張り) [名]
ゴーズナカ (欲張りだ) [形]

55. 欲張り

V 《食生活》

56. 大食漢

○ダオケデ クーゴタル。
(牛や馬の餌を入れる桶で食べるようだ。)

○ソコソ ナカゴタル。(底が無いようだ。)

57. ぼたもち

ハンゴロシ (半殺し) [名]

お米の形が半分残っていて半分つぶれている様子からの命名
とのことである。

ボタモチ, オハギ

お餅のことは「オカチン」と言う。

58. 砂糖味が薄い

○サトヤノ 下ーカ。(砂糖屋が薄い。) 新

59. 塩味が薄い

シオアマカ (塩甘い) [形]

60. 大酒飲み

ザル (ざる)

酒を飲むことは「オーメク (仰向く)」と言う。

61. 酒に酔ってくだをまく N. R.

62. 酒に酔って赤くなる様子 ○ヒ下リデ アンダゴト シトル。

(一人で飲んだようにしている。)

VI 《動作・様態》

63. 恥ずかしくて顔が赤くなる N. R.

64. どしゃぶりの雨 ○バケツバ ヒックリカエシタゴツ。

(バケツをひっくり返したようだ。)

ジャジャブリ, ザーザーブリ, ダーダーブリ [名]

65. ずぶ濡れになる

ジッポテ ヌル, ジッポリ ヌレル,

ジュックリ ヌレル 新

66. 服装がだらしない様 ズンダレ [名]

服装に限らずだらしないことを言う。

67. のび放題の髭 ブショーヒゲ (無精髭) [名] 新

68. 厚化粧をしている人 N. R.

69. 背丈の高い人 ○ウマヌストニ チョーチン トボスゴタル。 古・稀
 (馬盗人に提灯を灯すようだ。)
 単に「ウマヌスト」とも言う。
 ○バカンゴト フトイ。(馬鹿のように大きい。)
70. 出びたい デゴチン [名]
71. 汗が滝のように落ちる N. R.
72. 目を丸くする ○メンタマ トビデル。(目の玉が飛び出る。)
73. 口をとがらす ○クチバ トガラカス。(口をとがらせる。)
 表情に関する比喩語として他に、
 人の顔をじっと見る様 ○アメフリノ ニワトリソゴタル。
 (雨降りの鶏のようだ。)
74. 焦げ臭い N. R.
75. 遠回り ○ノキダレ マワル。(軒下を廻る。) 稀
76. 末っ子 スエッコ(末の子) [名]
 三人兄弟で一番上を「ソーリョームスコ(総領息子)」中の子を
 「ナカッチョ」と言う。
77. 一生懸命頑張る ガマダス [動] 「ガマ」は我慢のことであろうか。
 ガマダシモン(頑張り屋) [名]

この資料から気が付くことは、比喩語には可視的な具象語に喩えたものが多いということである。動物に喩えたものとしては狐(1)、鶏(73)がある。身体語に喩えたものには、耳(23)、尻(32・53)、面(50)などがある。家の一部に喩えたものには柱(4)、軒(75)がある。また、最も多かったものは、生活に密着した道具類に喩えたものである。例えば、火鉢(49)、だ桶(56)、ざる(60)、バケツ(64)などに喩えたものがある。しかし中には、マガ(馬鉄)のように使用者には語源がわからなくなっているものもある。

◇参考文献

福岡県教育会本部編纂 『福岡県内方言集』 明治32 (覆刻 昭和50年) 国書刊行会

(うえのたまき 広島大学大学院)